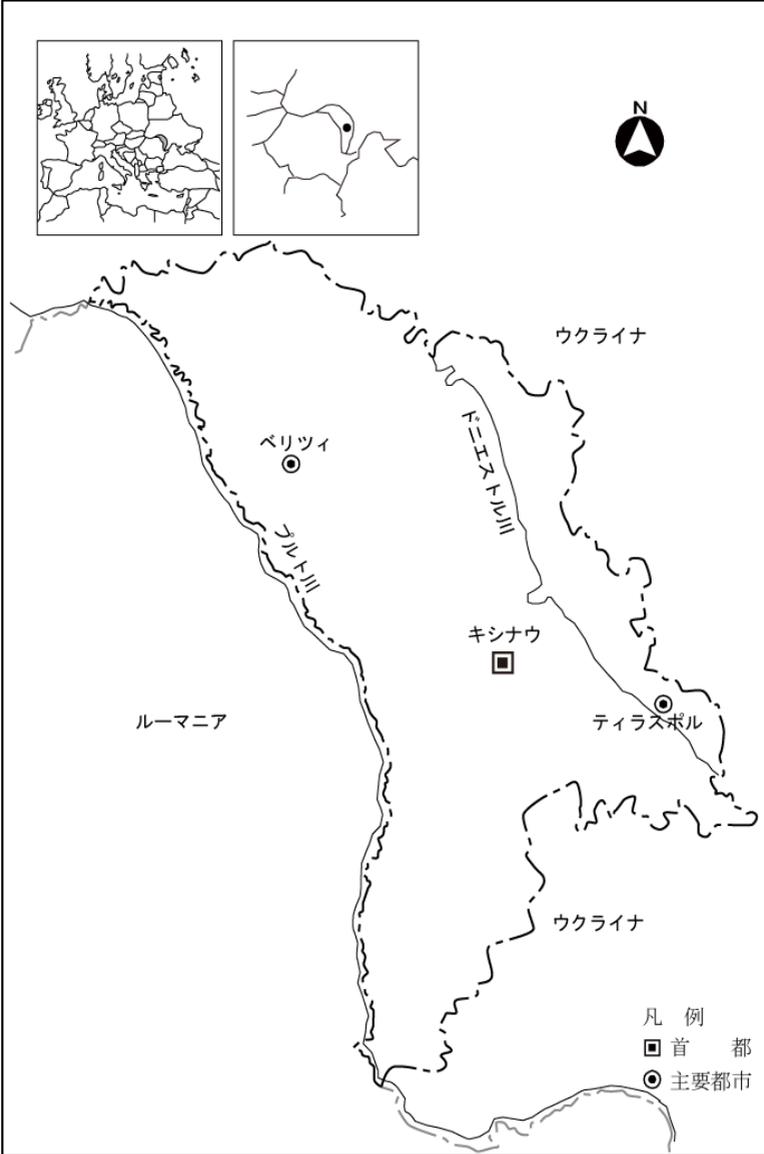


モルドバ共和国



(一般指標)

国名 (英名)	モルドバ共和国 (MDA : Republic of Moldova)	
国土面積 万 ha	340 (日本の9%)	
人口 万人	351.9 人口密度 104人/km ² (2012年)	
首都名(英名)	キシナウ(キシニョフ)(Chisinau)	
首都人口 万人	66.3 (2010年)	
主要言語	モルドバ語(公用語)、ルーマニア語、ロシア語等	
宗教	正教93.3%、プロテスタント2%、カトリック0.1%	
国連加盟年月	1992年3月2日	
通貨単位	モルドバ・レイ 1米ドル=12.9255 (2013年7月)	
国民総所得：GNI 億米 ^{ドル}	65 (2010年)	
一人当りGNI 米 ^{ドル}	1,810 (2010年)	
主要産業	農業(ぶどう、葉たばこ等)、軽工業(主にワイン)	
日本から輸出 億円	2.9 (2011年)(タイヤ類57.3%、一般機械、電気機器等)	
日本の輸入 億円	11.6 (2011年)(衣類・同付属品89.6%、敷物類等)	
土地利用 万ha	耕地	212 (64.4%) (2009年現在)
	森林	38 (11.6%) (2009年現在)
	牧場・牧草地	35 (10.8%) (2009年現在)
度量衡	メートル法	
祝祭日	1月1日元旦、1月7日降誕祭(ロシア正教クリスマス)、 3月8日国際婦人デー、4月23日両親の日、5月1日メーデー、 9日戦勝記念日、8月27日独立記念日、31日国民の言語の日、キシナウの日、12月25日クリスマス 移動祝日：イースター、イースターマンデー	
気候	殆どは大陸性の冷帯潤湿気候(Dfb)だが、南端部は温帯気候(Cfs・Cfb)も見られる。 キシナウ-7℃(1月)、20℃(7月)年間降水量677mm	

(森林指標)

(森林面積)

森林面積 (2010)	千 ha	386
森林率	%	12.0
森林変動率 (2005-2010)	%	1.2

(森林蓄積)

森林蓄積(2010)	百万 m ³	48
ha 当たり森林蓄積	m ³	123

(人工林面積)

人工林面積 (2010)	千 ha	2
森林面積に対する割合	%	1.0

(森林所有者)

公的機関	%	100.0
民間	%	0.0

(炭素蓄積)

炭素蓄積 (2010)	百万トン	29
年平均炭素蓄積変化 (2005-2010)	千トン/年	-

(森林・林業行政組織)

歴史的にモルドバでは森林は国有である。森林の85%は国の機関が管理し、15%は市町村や農業企業により管理されている。モルドバの森林に係る中央行政機関はMoldsilvaである。Moldsilvaは森林政策の策定、実施を行い、環境天然資源省(MENR)の中にある。1990年にはMoldsilvaは主に国の財政により賄われていたが、現在は96%以上は自主財源により賄われている。森林法(Forestry Code)によれば、Moldsilvaは森林管理計画を開発、承認、評価する権限を有する。MENRは森林保護・利用に係る全体的な役割を担うが、これら権限を実施する人材が不足している。

(森林・林業政策)

森林はいくつかの法制度により規制されているが、モルドバ憲法によれば「森林は環境を保全する重要な役割を有する」と明記されている。森林法は行政・刑罰法規並びに荒廃農地植林法とともに林業計画、荒廃地の新植及び河川域の保護区域について規定する。持続的森林開発目標を設定している国家文書は持続的森林開発戦略(2001)であり、森林活動の国家及び地域戦略への統合を求めている。本戦略は新植と森林多様性の保全及び農地荒廃と新植のリンクを認識し、植林活動と河川域のバッファゾーン設定に係るアグロフォレストリーが推進されるべきとしている。同戦略の植林目標は2020年までに12.8万haの新規植林を目標とし、その項目は次のとおりである。

<戦略項目>

- ・既存天然林の潜在性を強化
- ・森林の生物多様性を保全
- ・森林面積の拡大

<新規植林目標>

- ・新植 2.5万 ha
- ・天然更新奨励 3万 ha
- ・天然更新 3.2万 ha

この戦略による活動を国の法律及びプログラムと統合させるためには、MENRとMoldsilvaの連携が重要であるが、現時点ではこれらの機関の交流は限られている。

(森林の現況)

モルドバは東ヨーロッパ及び中部ヨーロッパの中で最も小さな林業国の一つである。2000年初頭には32.5万ha(国土の9.8%)の森林であったが、2010年には38.6万ha(11.6%)にまで拡大した(FRA2010)。森林法によれば、モルドバの森林はすべて自然保全機能を有し、経済林は存在しない。森林を構成する樹種は主に広葉樹であり、30%はナラ、30%はアカシアであり、その他樹種としては、ブナ、カンバ、カエデがある。針葉樹としてはマツとトウヒがわずかに見られる。多くの森林は中若齢林である。

森林は極端に偏在している。多くは中央部のCodri地域に分布している。当該地域の森林率は17%から31%である。最も森林が少ないのはBalti、Budzhak地域及び南東部Dniester盆地である。

(人工造林)

FRA2010によれば、人工林面積は2千haである。また、1,990年から2010年までの間に全体として森林面積は67,000ha増大した。モルドバにおける森林分野の問題点は次のとおりである。

(1) 違法伐採

1997年から2004年までの間で違法伐採された木材は142,300m³であり、そのうち35,000m³は国有林管理(Moldsilva)の森林からである。

(2) 密猟

(3) 病虫害被害

全森林の30%が何らかの病虫害被害を受けている。

(4) 放牧

全林地の14%が牧草生産及び放牧に使用されている。

(5) 森林火災

なお、荒廃地の普及のための造林経費は当初数年間はおよそha当たり1,000ドルであり、CDM植林を実施するのが可能な経費である。

森林の蓄積は48百万m³であり、年間収穫量は年間成長量の40%未満に留まる。森林法に基づき、森林の状態はモニターされ、保護措置がMoldsilvaにより取られている。

(林産業)

モルドバの木材生産量のほとんどは薪炭用である。木材加工業はほとんどが国有である。木材生産量は国内需要を賄うのには十分ではなく、紙・パ製品はロシアから輸入されている。

原木生産量の推移と木材貿易量は以下の表のとおりである。

原木生産量の推移

単位：千 m³

年次	薪炭用	用 材				原木生産量 合計
		製材用、 単板用	パルプ用	その他	合計	
1985	—	—	—	0	0	—
1990	—	—	—	0	0	—
1995	—	—	—	0	0	—
2000	—	—	—	0	0	—
2006	334	27	—	18	45	379
2010	309	26	—	17	43	352

注：その他は杭、マッチ、ポスト、柵 など

木材貿易量 (2010)

単位：数量万 m³、金額万ドル

製 品 名	輸 入		輸 出	
	数 量	金 額	数 量	金 額
丸 太	4.1	312.2	0.3	—
製 材	14.3	1,600.8	0.4	148.9
合 板	—	—	—	—

- 出典 : 1. World Bank, November 2007, Integrating Environment into Agriculture and Forestry Progress and Prospects in Eastern Europe and Central Asia Volume II , Moldova Country Review
2. United Nations, 2002, Johannesburg Summit 2002, Republic of Moldova Country Profile
3. FLEG, May 2010, Moldovan Forests Reality, Problems, Solutions
4. FAO, 2007, Forest Health & Biosecurity Working Papers Overview of Forest Pests, Republic of Moldova
5. Mongabay, 2013, TROPICAL RAINFORESTS: Moldova Forest Information and Data
(<http://rainforests.mongabay.com/deforestation/2000/Moldova.htm>)